

2015年 地区大会報告

姫路地区宣教評議会運営チーム

小川 雅司

姫路地区における地区大会は、「信仰を証しする共同体」 “兄弟が共に座っている。なんという恵み、何という喜び、（詩編 133・1）をテーマとして掲げ、1月1日（神の母の祝日）～6月7日（聖体の祝日）の5か月間を大会の期間としました。

期間中に、姫路地区の小教区が4つのグループに分かれ、ブロックを超えて、複数の小教区が共同で活動する内容を企画し、他の小教区を訪問し、信仰がもたらす喜びを共に味わいます。

また、期間中、地区養成チームによって準備された養成プログラムに従い、各ブロックで「聖書」「ミサ」「教会」をテーマに分ち合いを実施する予定です。

1月18日（日）の地区評議会の日に、地区評議員の皆さんが参加して、地区大会のオープニングセレモニーを行いました。セレモニーは、テゼの歌で開祭し、黙想、朗読に続き、カレンガ神父様の説教がありました。説教の中で、前田大司教の2015「新生計画20周年のメッセージ」に照らし合わせて、

- ・ バランスの取れた活動する教会
- ・ 教会内外福音宣教する教会

「兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び詩篇133・1」

- ・ 子供の信仰教育を大切にする教会
- ・ 外国人と一緒に作る共同体の実現などについてお話になりました。

最後にロヨラの聖イグナチオの聖体賛美の祈りで締めくくられました。